

2月号

まちづくり通信

発行 飛騨高山まちづくり本舗
〒506-0845 高山市上二之町44-4
まちひとぶら座かんかこかん
電話 & FAX 0577-33-5282
m-honpo@takayamashishouren.net

一年ぶりに“まちづくり通信”再スタートします。本年もよろしくお祈りします。

次世代のまちづくりに向かって 新たな芽吹きが始まっています



暦の上では春、雪の下では春の準備が進んでいることでしょう。さて、昨年12月5(土)・6(日)日に市役所で開催された「冬のあったか縁日」では、スタッフ・ボランティアとして、出演者として、そしてご来場者として、それぞれに同じ場所と時間と充実した思いを共有することができました。その余韻はきっと地域に点在している仲間のみなさんの日々の励みとなっていることと思います。まことにありがとうございました。

新型インフルエンザの影響も心配されましたが、参加団体49団体、1日目1,002人、2日目は2,080人の合計3,082人がご来場され、二日間を楽しく過ごしていただくことができました。



冬のあったか縁日'09 in 高山市役所

庁舎まるごと
あそびの広場



宙を舞う
自転車に歓声!

マスク似合う?



猫バスに乗って
ちびっこ大はしゃぎ



地下のいつもの売店は駄菓子屋に。
幼児から高校生にまで人気のスポット



I love TAKAYAMA

あったかい気持ちを
まちづくりにつなごう!!

人と情報がつながって、人と人がつながって、会話が行き交うとまちが楽しく活気をおびて見えてきませんか?この頃、住んでいるこのまちが好きって言える場面が増えていませんか?

あったかい気持ちを、まずサポーターとなって情報の受け手となることから、だれにもできるまちづくり参加につなげていきませんか。高山市が、「まちの元気印.応援団」サポーター募集中!!

協働によるまちづくり活動サポーター
「飛騨高山まちの元気印.応援団」サポーターに
登録しませんか

高山市では、自分たちが住むまちを、私ができること、やりたいこと、協力できることを通じて、まちをみんなで盛り上げようと「飛騨高山まちの元気印.応援団」サポーター登録をスタートしました。会費は無料。詳細は高山市HPまたはインターネットサイト検索からご覧下さい。

飛騨高山まちの元気印 検索

問合せ: 高山市中心市街地活性化推進室(応援団事務局)

TEL 35-3426 (直通) FAX 35-3167





1.24の奇跡

根強い土着のエネルギー〔にぎわう二十四日市考〕



飛騨の冬の風物詩と親しまれている二十四日市は、不思議と雪が舞えば舞ったで活気付く行事です。しかも今年は晴天の一日となり、人出は4万8千人と驚異の数字が発表されるにぎわいでした。天候に左右されない理由は、観光客でなく地元の人たちの暮らしに密着しているからでしょうか。本来新年を迎えるための歳の市が新暦となった今でもその伝統は引き継がれ、人々は何が何でも1月24日には「まちに行ってくるさ」とまちに出て、日常の暮らしになくはならない生活用品を買い求める機会となっているようです。この日だけは、寒くてもこたつのお守は猫にまかせて、楽しみ半分にまちに出かけて行く習慣が今でもあたりまえに息づいているからなのでしょう。

今でも使われる生活用品

十年ぶりに出かけて来たという方は、祭りの露天店が多くなっていると驚いていましたが、見のがせないのは、昔ながらの手技が目目を引く民具の数々。

江名子ばんどり(ビニールの雨合羽が主流の現代ではめずらしく、見るだけでも目が喜ぶ“目の正月”とのこと)。

そして、昔も今も根強く飛騨の暮らしに使われ続けているのは、**有道杓子**(杓子かんなどという専用のかんなでほどよいカーブが生まれます)、**宮のひのき笠**(ていねいな編み目がとても美しい)、**小屋名しょうけ**(しょうけの素材としてウルシ、スズ竹、マタタビが紹介されていました)などは、それぞれ求められ使われていてこそ生き続ける職人技!



ひと工夫加えた地元食

地元の農産物を加工した新製品も登場し、普段出会えない地域のパワーが紹介される機会となりました。こういう機会を経て、作り手のこだわりと求める人のこだわりが、更においしい現代の地元食を育てていくことなのでしょう。



パワースポットとなる舞台

数年前に市民活動グループが、こども連れでも出かけて行きやすい二十四日市になったらと、空き店舗活用の「二十四日市お休み処」を開設しましたが、その発展形として今では「よって館」や「かんかこかん」が開設され常時その役割を果たしています。

「二十四日市に出かけて来たけれど子どもたちと安川あたりを通ると必ずかんかこかに吸い込まれるように遊びに来るんです」「子どもたちにゆったりと接して下さるので親には勉強になります」と、かんかこかんもまちなかのパワースポットになっています。



ここは東京渋谷の交差点
いえいえ、ここはおなじみ鍛冶橋交差点

二十四日市が、今後も魅力的を持ち続けるためには、1.24の奇跡からひもともくまちづくりの視点はかかせないでしょう。二十四日市のにぎわいを一日だけの奇跡と片づけずに、地域の人たちが持っている土着のエネルギーを日常的にまちなかや商店街に分散させ、地域の人たちが楽しみ半分でかけて行きたくなるような小さな工夫があちらこちらに見られると、まちはますます人をいざない、365日奇跡を起こすパワースポットになるかもしれません。



New コラボづくしのスイーツで まちなか活性化へGO!!

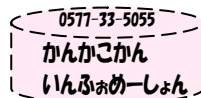
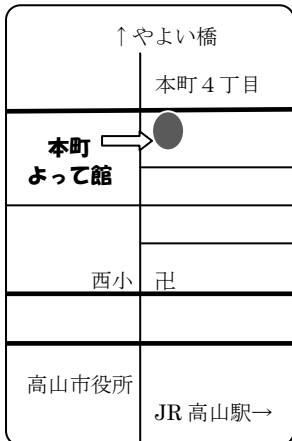
自慢の宿儺(すくな)かぼちゃアイス
本町よって館にて2月6日から発売開始
一個250円(2月中は一個200円)



かぼちゃの実と種のパッケージの蓋。
デザインは情報処理科の高校3年生。

本町4の交流施設「よって館」にある、まちづくり実践の一環として開設しているアンテナショップ「飛騨高山高校スマイルハウス山高望」にて、ビジネス科の高校生と地元伝統野菜と地元企業のコラボレーションで生まれた特製スイーツが販売されます。まちぐるみで高校生のやる気を応援しましょう。

販売時間：水～金 午後4時～5時半
土・日 午前10時～午後5時



こどもひろば・情報ひろば・まちづくりひろば
まちひとぶら座かんかこかん
開館時間 10時～5時(年末年始を除き無休)



★手作り絵本講座

2月17日(水)、24日(水)、3月3日(水) (3回コース)
午前10～12時 参加費300円 託児あり(各回500円)
オリジナルの絵本を作ってみませんか。テーマは自由です!
先着10名、3回で完成するので全日出席の方が対象です。
持ち物・託児申し込み(先着5組まで)などの詳細は下記まで
※2月12日締め切りです。お申し込みはお早めに!

★かんかこかん“フリーマーケット”

あたたかくなるまで休眠中です。後日ご案内します。

問合せ、申込みは

33-5055 かんかこかん (安川通り商店街)